

第3学年 音楽科学習指導案

指導者 今野裕子

1 題材名 リコーダーとなかよしになって楽しくえんそうしよう

2 目標

リコーダーに憧れをもてるような演奏の鑑賞を通して、リコーダーの音色の美しさを感じ取るとともに、基本的な奏法に関心をもち、演奏する楽しさを味わうことができるようにする。

3 題材と児童

(1) 児童について

男子21名、女子10名、計31名の学級である。松組男子児童が交流学習を行っている。学級全体としては音楽好きの児童が多く、朝の会では「今月の歌」を自分達のふりつけを入れながら生き生きと歌ったり、休み時間には数名の女子児童がキーボードで既習曲の演奏をしたりして楽しんでいる姿が見られる。

前題材の「階名になれよう」の学習では、八長調の階名視唱の学習を行っている。楽譜を階名で読んで鍵盤ハーモニカを演奏することにはほとんどの子どもが意欲的に取り組むことができた。鍵盤ハーモニカの演奏技能の高い子どもが多い。また、「海風きって」では、ふしを作って楽しむ学習をしたが、自分のつくったふしを五線に音符で書く学習にも個人差はあるものの概ね意欲的に取り組んでいた。

リコーダーに関しては、これまで高学年の演奏を耳にしていたため「いつからリコーダーの勉強をするの。」「早くやってみたいな。」とリコーダーの学習に対する大きな期待を寄せている姿が見られた。リコーダーの入門期である現在、子ども達がリコーダーの美しい音色を感じ取り、基本的な奏法を身に付け、運指の簡単な曲を演奏する力をつけていきたいと考えている。そして、今後、ふしの感じを生かして演奏したり、高学年での楽器の重なり合う響きの美しさを感じて聴いたりする学習へとつなげていきたい。

(2) 題材について

本題材は、学習指導要領の内容「A表現(1)ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること」「A表現(3)イ 音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏すること」「B鑑賞(1)ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気を付けて聴くこと。また、それらの音や声の組み合わせを感じ取って聴くこと。」にかかわる学習である。

この題材は、子ども達がリコーダーの演奏を聴いたり自分でも演奏したりして、リコーダーの音色の美しさを感じ取り、基本的な奏法を身に付けて簡単な旋律の演奏を楽しめるようにするのに適した題材である。

はじめにリコーダーの演奏を鑑賞し、その美しい響きや音色を感じ取って演奏に親しませることで、演奏への憧れや気持ちを膨らませていける題材である。楽器との初めての出会いにふさわしくやさしい旋律やゆったりしたリズムの曲を演奏することで、リコーダーの演奏に対する興味・関心を高め、基本的な奏法を身に付けて演奏を楽しむことができると考えている。

(3) 指導について

一人一人がリコーダーの音色の美しさを感じ、基本的な奏法に関心をもって演奏したり聴いたりして、演奏の楽しさを感じ取ることができるようにするために、次の点に留意して指導していく。

【リコーダーの音色の美しさを感じ取らせるために】

- ・一人一人がリコーダーの音色に興味・関心をもち楽しく演奏に取り組めるようにするために、はじめに、リコーダーの音色の美しさに憧れをもてるような曲を鑑賞させる。
- ・タンギングや美しい音色に対する意識をもたせて演奏させるために、お互いの音を聴き合う場や教師の演奏を聴く場を設定する。

【基本的な奏法に関心をもたせるために】

- ・美しい音色で演奏させるために、息の流れや運指がより具体的に理解できるように図を用いて理解させる。
- ・タンギングや正しい指使いを楽しみながら習得できるように、リコーダーによる「まねっこ遊び」や「お話ごっこ」を授業の始めに取り入れる。

- ・技能的なつまづきが見られる子どもには、教師と一緒に演奏したり、友達と一緒に演奏させたりしながら、できるところを増やし技能面を伸ばす支援をしていく。

【演奏する楽しさを味わわせるために】

- ・左手だけで演奏できるソ～レの5音を段階的に学習することができるように、教材を系統的に配列する。
- ・新しい運指を覚える度に演奏する楽しさを感じ取ることでできるような曲の配列を心がけ、教材については子ども達が興味をもって取り組める曲を教科書以外からも準備する。

【特別支援学級男児の指導について】

- ・普段から交流している特別支援学級の男児も一緒に学習するため、特別支援学級担任がその男児の指導にあたる。

また、研究主題「自分の思いをふくらませ 豊かに表現する子どもの育成～伝え合う力を高める指導を通して～」にかかわって、次の点に留意したい。

- ・一人一人が美しい音色のイメージをもって演奏したり、曲想を捉えて演奏したりすることができるように、演奏を聴いて感じたことを学習カードに書かせたり、発表したりする場を設定する。
- ・曲想について子ども達が感じたことを楽譜で確かめながらイメージをふくらませていくことができるように、拡大楽譜を準備して音楽の要素や奏法と関わらせながら確認していく。

4 教材について

教材については、子ども達が新たに学習するリコーダーという楽器に興味をもって無理なく演奏に取り組めるように、導入ではゆったりとしたテンポで音色の美しさを感じ取りやすい曲を選択した。また、新たな運指を学習する度に、演奏の楽しさを感じ取ることができるように教材を系統的に配列している。さらに、友達と合わせて演奏することで、よりリコーダーの演奏の楽しさが感じられるように後半には簡単な二重奏の教材を選択した。どの曲も、美しいピアノの伴奏にのって演奏することで、リコーダーの演奏の楽しさを存分に味わわせることができると考えている。

『小鳥のために』(作曲者不詳)

リコーダーの音色に興味をもたせ、これから演奏する楽器に期待をもたせるための教材として最初に鑑賞させる。

『ちょっとまってね』(北村俊彦)

ゆったりとしたテンポの曲。始めて習ったシの音だけで吹ける美しい曲。美しい伴奏に乗ってリコーダーの演奏の楽しさに触れることができる曲である。

『さくら笛』(北村俊彦)

ラとシの2音だけで吹くことができる。ラとシが交互に出てくる。分散和音の伴奏にのって、歌うような気持ちで演奏させることで、曲想を感じ取った演奏にもつなげていきたい。

『地平線』(北村俊彦)

ソの音を美しく響かせる練習をするのに適した教材である。また、最後の三度の美しい響きが、リコーダーの美しい音の重なりを感じ取ることのできる曲であり、リコーダーの演奏の楽しみを広げることのできる教材であると考え。ゆったりとした伴奏にのってソ・ラ・シの3音を美しく響かせて演奏させたい。

『かりかりわたれ』(わらべ歌)

ラ・ド・レの3音なので、新たにド・レの運指を覚えて演奏に慣れる曲として活用していきたい。また、演奏の際には、歌詞の気分を生かせるようにして演奏させたい。

『パンダンス』(北村俊彦)

易しい運指によるリコーダーの二重奏を通して、響き合いの美しさを楽しむことができる曲である。どちらか好きなパートを選ばせて演奏させ、二つのパートの響き合いを感じながら演奏させたい。

6. 本時の計画 (4 / 9時間)

(1) ねらい リコーダーの音色を味わって聴き, 曲の感じをつかんで演奏することができる。

(2) 展開

学 習 活 動	教師のかかわり	評価の観点と方法
<p>1. 前時の学習を想起し, 「さくら笛」演奏する。</p> <p>2. シ・ラで「まねっこ遊び」や「お話ごっこ」をする。</p> <p>3. ソの運指について学習する。</p> <p>4. 今日のめあてを確認する。</p>	<p>・伴奏の音を感じ取って美しい音で演奏するように助言する。</p> <p>・楽しい雰囲気の中で演奏に取り組めるようにする。タンギングや美しい音色にも気を付けさせて演奏させる。</p> <p>・タンギングや美しい音色に気を付けながらソの運指を練習させるようにする。</p>	
<p>曲の感じをつかんで えんそうしよう。</p>		
<p>5. 「地平線」を聴き, 感じたことを学習カードに書き, 発表する。</p> <p>5. 「地平線」を階名唱する</p> <p>6. 「地平線」の 1 の部分を練習する。</p> <p>7. 本時のまとめと次時の予告をする。</p>	<p>・演奏を聴いて気づいたことや感じたことを短い言葉や, 文などで書かせる。</p> <p>・曲想について, 子ども達が発表した言葉を生かして, 音楽の要素や奏法と関連させてまとめて板書するようにする。 音楽の要素について, 具体的な言葉で問いかける。</p> <p>・階名唱のときにも, 曲想を感じて歌うことができるようにピアノの伴奏に合わせて歌わせるようにする。</p> <p>・ペアにして指使いのわからないところを教え合ったりしながら練習させるようにする。</p> <p>・曲想を意識して演奏している子どもを全体で紹介する。</p> <p>・最後には, 全員で 1 の部分を通して演奏させる。 演奏が難しいところを一緒に演奏する。</p> <p>・今日のふりかえりを学習カードに記入する。</p>	<p>【音楽的な感受と表現の工夫】 伴奏の付いた演奏を曲の気分を意識して聴き, 自分の演奏に生かしている。 (発言・学習カード・演奏の聴取)</p> <p>曲想を的確に捉えた発言をしている。 曲想を意識して美しい音色で演奏をしている。</p>

「学習活動における具体的評価規準」

「十分満足できると判断される状況」と評価する具体例

「努力を要すると判断される」児童への指導の手だて

【授業の視点】

範奏を聴いて感じたことを学習カードに書いたり、発表したりして拡大楽譜を用いて音楽の要素や奏法と関わらせながら確認した。このことが、一人に一人に曲想を感じ取らせ自分の思いをもって演奏させるための有効な手だてとなっていたか。

5. 学習活動と評価計画（9時間扱い 本時4 / 9）

評価の観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
内容のまとめ				
歌 唱				
器 楽				
創 作				
鑑 賞				

題 材 の 評 価 規 準			
音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
リコーダーの音色や演奏に興味・関心をもち、進んで聴いたり演奏したりしている。	リコーダーの音色やその響きの美しさを感じ取り、音の出し方を工夫している。	タンギングや息の使い方を工夫して、美しい音色でリコーダーを演奏している。	リコーダーの音色の美しさを感じ取りながら聴いている。

	ねらい	学習内容・主な学習活動	学習形態	教材 曲	具体の評価規準（評価方法）				十分満足できると判断するキーワード	努力を要する児童への手だて
					音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力		
第一次		リコーダーの音に興味・関心をもち、リコーダーの基本的な奏法に親しむ。 リコーダーの演奏の鑑賞を通して音色の美しさを感じ取り、リコーダーへの興味・関心をもてるようにする。 ・「小鳥のために」を聴き、感想を発表し合う。 ・リコーダーの構え方や音の出し方に慣れる。	一 斉	小鳥のために	リコーダーの音色に心をよせ関心をもって聴いている。（表情や態度の観察）			リコーダーの音色や響きのよさに気付いて聴いている。（発言内容）	関心をもって聴いていることが伝わる表情や態度。 リコーダーの音色を的確に捉えた発言。	友達の発言内容をもとに確かめるように聴くことを繰り返す。
		リコーダーのシの運指に慣れ、短い旋律を演奏する。 ・タンギングをした範奏を聴いたり、模倣したりして演奏する。 ・美しい音色を意識して「ちょっとまってね」を演奏する。	一 斉 グループ	ちょっとまってね		タンギングをしている音とそうでない音の違いに気付き、よりよい音の出し方を工夫している。（演奏の聴取・発言の内容）			タンギングの有無を正しく聴き分ける。 自分ができるようになったコツを友達に教えている。	つまづいているところを見つけて個別に対応したり、全体練習で反復練習したりする。
第二次		曲想を感じ取り、リコーダーで歌うように吹く音色の出し方を工夫する。 シ・ラの運指に慣れ、旋律を演奏する。 ・範奏を聴き、曲想を感じ取る。 ・範奏と一緒に階名唱する。 ・ラの運指に慣れる。 ・スムーズな運指やタンギングに気を付けて演奏する。	一 斉	さくら笛	タンギングや音色に気を付けて、進んで演奏している。（演奏態度の観察）		ラ・シの2音の運指に慣れて旋律を演奏している。（演奏の聴取）		美しい音色を意識した意欲的な表現態度。	つまづいているところを教師と一緒に演奏する。
	本時	リコーダーの音色を味わって聴き、曲の感じをつかんで演奏する。 ・範奏を聴き、曲想を感じ取る。 ・ソの運指を覚える。 ・「地平線」を階名唱する。 ・「地平線」の①の部分演奏する。	一 斉 ペア	地平線		伴奏の付いた演奏を、曲の気分を意識して聴き、自分の演奏に生かしている。（発言・学習カード・演奏の聴取）		曲想を的確に捉えた発言。 曲想や美しい音色を意識した演奏。	音楽の要素について具体的な言葉で問いかけたり、演奏の難しいところと一緒に演奏したりする。	
		シ・ラ・ソの運指に慣れ、旋律を演奏する。 ・「地平線」の②の部分練習する。 ・「地平線」を通して演奏する。	一 斉 ペア	地平線			ふしの流れを感じて、優しい音色をイメージして旋律を演奏している。（演奏の聴取）		安定した拍感と音色。 丁寧な演奏。	教師の範奏を聴かせたり、一緒に演奏したりする。
第三次		聴いたり演奏したりして、リコーダーの音色の響きに親しむ。 ド・レの運指になれ、旋律の演奏に親しむ。 ・ド・レの運指を覚えて「かりかりわたれ」を演奏する。	一 斉	かりかりわたれ			ド・レの運指に慣れて旋律を演奏している。（演奏の聴取）		美しい音色。 正確なタンギングと指使い。	つまづいているところを教師と一緒に演奏する。
		ソ・ラ・シ・ド・レの運指に慣れ、旋律の演奏に親しむ。 ・範奏を聴き、曲想を感じ取る。 ・ の部分を階名唱して、旋律の流れを感じ取る。 ・ の部分をフレーズ毎に練習する。	一 斉 グループ	パンダンス		リコーダーの音色や響き合いに気を付け、二重奏の仕方を工夫している。（演奏の聴取）	ソ・ラ・シ・ド・レの運指に慣れ、旋律を演奏している。（演奏の聴取）		二つの旋律の響き合いを感じ、拍の流れに乗った演奏をしている。	響き合いを感じて演奏しているグループの演奏を聴かせる。
		ソ・ラ・シ・ド・レの運指に慣れ、美しい音色でリコーダーの二重奏をして楽しむ。 ・ のパートに別れて二部合奏したり、グループで二重奏したりして楽しむ。 ・演奏を聴き合う。	一 斉 グループ	パンダンス	二つのパートで合わせて演奏することに意欲的に取り組んでいる。（演奏態度の観察）			二重奏の響きの美しさを感じ取って聴いている。（発言・学習カード）	二重奏の響き合いの美しさを的確に捉えた表現。	友達の演奏を聴いて、きれいだと感じたところを探るように助言する。

